



三ツ石から見た半島

表紙の写真を募集 題材は「まなづるのステキ」

議会だより

 **まなづる** No.27

一般質問 6名の議員が壇上に立つ...9~11p

~特集~ どこに使われているの? 町の予算...8p

常任委員会質疑(経済文教・総務民生)...4~5p

議会基本条例制定に関する特別委員会 発足...6p

3月議会報告...2p

3月議会報告

平成22年度の町の予算を可決しました。

今年度の予算を審議する定例議会が、3月1日から12日まで開かれました。一般会計と特別会計を合わせた当初予算総額は57億7,580万3千円で、前年度に比べて9,269万2千円で1.6%の減です。

<<<新年度予算>>>

平成22年度の当初予算は、本会議においても質疑されましたが、各常任委員会において活発な質疑が行われて審議された結果、可決すべきと決定しました。3月12日の本会議で所管の委員長から審査報告が行われ、原案の通り可決しました。



◇一般会計予算 **可決** (全員賛成)

総額を29億4,500万円とするものです。

<説明>昨年度より2,400万円増の予算です。

自主財源である町税が10億7,813万6千円ありますが、昨年度より186万6千円減額になっています。増えた分は国庫支出金8,085万7千円増、地方交付税4,000万円増、県支出金3,303万8千円増などが主なもので、町債も6,720万円増の2億5,310万円を新たに借り入れます。

自主財源比率が昨年度は52.8%でしたが、今年は46.0%になりました。この比率が低いほど、財政運営の自主性を保つのが難しくなります。

<主な新規事業>農道拡幅1,300万円、戸籍電算化540万円、小中学校防犯カメラ設置45万円、妊婦歯科健診委託10万円



◇国民健康保険事業特別（事業勘定）予算 **可決** (全員賛成)

総額を12億5,799万7千円とするものです。



◇国民健康保険事業特別（施設勘定）予算 **可決** (全員賛成)

総額を1億6,149万3千円とするものです。

<説明>薬の院外処方4月1日より始めるために、診療所の外来収入は大幅に減りますが、医薬品の購入維持コストなどがその分削減できます。



◇老人保健医療特別会計予算 **可決** (全員賛成)

総額を120万7千円とするものです。

<説明>今年度で当特別会計は終了となります。



◇下水道事業特別会計予算 **可決** (全員賛成)

総額を1億9,263万9千円とするものです。

<説明>下水道は483マス中208件が接続済みで達成率は43.1%です。今年度は新たに40件の接続を見込んでいます。

<お願い>下水道の供用開始がされてから、大ヶ窪の海がきれいになったと言われていています。後世にキレイな海を残すためにも1日も早い接続をお願いいたします。



◇真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計予算 **可決** (全員賛成)

総額を2億219万4千円とするものです。



◇介護保険事業特別会計予算 **可決** (全員賛成)

総額を5億8,672万3千円とするものです。



◇後期高齢者医療特別会計予算 **可決** (賛成多数)

総額を9,297万円とするものです。



◇水道事業会計予算 **可決** (賛成多数)

総額を2億4,243万7千円とするものです。

身の丈に合った

<<< 条例改正 >>>



◆ 発議第1号 真鶴町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

可決 (賛成多数)

1、報酬審議会の答申を受け、議員の期末手当を3.0か月から一般職と同じ4.15か月に変更するものです。

○反対討論その主な理由…経過措置を設け、時間をかけて論議すべき。

○賛成討論その主な理由…報酬審議会の答申を尊重したい。

2、町外への出張旅費1日につき1,000円の費用弁償を廃止しました。



◇ 議案第1号 真鶴町常勤特別職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について **可決** (全員賛成)

町長・副町長・教育長の給料月額及び期末手当の支給割合について

<説明>これまで町長及び副町長並びに教育長の給料及び期末手当が暫定的に引き下げられていましたが、報酬審議会の答申に基づき、元の額に戻すことを可決しました。

<詳細>給料月給 町長609,000円→830,000円 副町長588,000円→660,000円
教育長565,000円→620,000円となります。



◇ 議案第4号 岩ふれあい館条例の一部を改正する条例の制定について

可決 (全員賛成)

<説明>体育館は引き続き体育館として使用できますが、校舎の方は年額156万円で独立美術協会へ作品収納等の用途として貸し出します。

予
算
成
立
!!

<<<< 補正予算 >>>>

補正予算とは、平成21年度の予算を一部修正するために議決するものです。



◇ 平成21年度真鶴町一般会計補正予算 **可決** (全員賛成)

2,197万4千円減の32億1,773万8千円の予算となりました。



◇ 国民健康保険事業特別(事業勘定)補正予算 **可決** (全員賛成)

926万6千円増の13億656万6千円の予算となりました。



◇ 国民健康保険事業特別(施設勘定)補正予算 **可決** (全員賛成)

870万9千円減の2億6,810万7千円の予算となりました。



◇ 下水道事業特別会計補正予算 **可決** (全員賛成)

1,838万9千円減の1億8,428万円の予算となりました。



◇ 真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計補正予算 **可決** (全員賛成)

1,115万円減の2億859万5千円の予算となりました。



◇ 介護保険事業特別会計補正予算 **可決** (全員賛成)

553万6千円増の6億1,769万7千円の予算となりました。



◇ 水道事業会計補正予算 **可決** (全員賛成)

615万3千円増の2億5,112万9千円の予算となりました。



議会を傍聴してみませんか

次の定例会は
6月11日(金)の予定です。

真鶴地域情報センターでも
議会議中継をしています。

3月8日 経済文教常任委員会質疑

まちづくり課

道路整備は景観を配慮して欲しいが。

ガードレールを景観に溶け込んだ色彩に変え、カーブミラーなどの色彩も検討していきます。

街灯をブルーの蛍光灯に換えていいんじゃないか。

色つきの蛍光灯は3灯ぐらい設置しましたが、コストが3〜5倍するため今の段階では全部を換えることはできません。今後は課題としてLEDも検討してみます。

生け垣設置奨励補助事業について周知しているか。
広報活動として、個人住宅の建築を行う際、パンフレットを配っています。

歩行者が歩くのにレンガとか、楽しくなるような歩道を検討できないか。

以前に景観の関係で背戸道に小松石の石畳を施工しましたが、ブロックやレンガでは障害者の歩行に支障をきたすこともあり、施工できない場合があります。

家の色彩について。

まちづくり景観計画の運用基準を作成し、屋根・壁の色について指導していきます。

崩落防止コンクリートに植栽をして、景観を良くすることは出来ないか。

あくまでも安全確保を目的としている県事業のため、景観重要公共施設になっていないので植栽はできません。町の工事では、植栽によりコンクリートが腐食してしまうので、施工の仕方を考慮しながら工事をいたします。

教育委員会

不登校の相談事業は効果があつたのか。

職員を配置して、学校まで行けなかった生徒で通えるようになった生徒もいます。

防犯カメラで写された映像の持ち出し基準について、どのように考えているか。

現在、管理マニュアルはありませんが、これから基本的なマニュアルを作成したいと思っています。

奨学金制度については。

制度はありますが、今後、高校の授業料無償化法案の可決成立で廃止になります。

青少年関係の補助事業の民間団体への補助基準はあるのか。

補助金を出す団体については、活動している団体を精査しています。現在はグリーンエイドだけに助成しています。



産業観光課

貝類博物館のデータ処理費については。

データ入力作業業務等委託料1,246万3千円のうちデータ処理に約300万円です。ほかは管理運営費です。

思い出ベンチの今後の設置予定はあるのか。

問題のない場所を選んで、土地所有者等の設置許可を得て在庫分を設置していきます。

観光協会や交付団体に助成している予算を監査しているのか。

助成金は政策予算を監査委員が特別にいるので精査されています。

イベントの集客効果の検証はしているのか。

経済効果が上がっています。費用対効果もあります。イベントに対して来客数は、観光協会から民宿、旅館に聞き取り、正確な数字を把握しています。

広域農道小田原湯河原線について。

広域農道は風祭から鍛冶屋までの区間ですが、真鶴町分1.8キロは完成しました。

公衆トイレの安全対策について実施しているか。

公衆トイレの管理業務5か所を、管理業者から日報等を受けています。

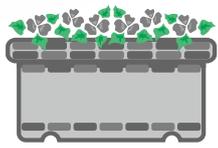
お林展望公園に舞台設置の要望については、どのように考えているか。

多目的に活用するためには必要なものですが、県自然公園条例との関係もありますので、平成23年度以降に考えていきます。



3月定例議会では、予算をより細かく審議するため、常任委員会を開きます。多くの質疑応答がありました。主な内容を掲載しました。

質疑



常任委員会

3月10日
総務民生常任委員会質疑



併検討会は3月末に結論が出されますが、合併協議の合意は難しい状況です。

自治会への補助金減額については、

回覧配布委託料などは前年同様に補助金を出していませんが、全体の繰り越し金等を考慮し、減額しております。

統計調査集計業務調査費の内容については、

22年度、国勢調査の調査費、学校基本調査、工業統計調査など、404万円になっていきます。

税務課

町税の滞納額は、
町税は、町民税・固定資産税と軽自動車税があります。その滞納額は1億550万円です。そのうち固定資産税の滞納額は前年度よりも増え5,900万円です。

企画調整課

広域行政推進事業については、
県西地域合併検討会の検討は、この3月末で終了いたします。県西地域広域市町村圏協議会と西さがみ連邦共和国・足柄広域ネットワークを統合し本年度から新しく「神奈川県西部地域広域行政協議会」を立ち上げます。2市8町の合

併検討会は3月末に結論が出されますが、合併協議の合意は難しい状況です。

職員です。

公共施設、出先施設を含めたパートの人数は、現在120名が登録されており、交代勤務の形態です。

環境防災課

真鶴港し尿処理槽の移設については、

場所を移動する予定になっていますが、しばらく時間をいただきたいと思います。

足柄上衛生組合に、いつまでもお世話になってるわけにはいかなので検討していきます。

交通安全対策事業については、

駅前前の渋滞改善には右折車線の設置が必要です。そのためロータリーの植え込みに信号機をいれて、道路幅を広げ、右折車線を設置するように、県土木事務所に申し入れをしています。歩行者の通行は地下道に誘導します。

管理課

旧岩小学校の貸し付けについては、

4月から独立美術協会に貸出しますが、今後、町としての利用も考えて、単年度での契約になっています。

退職手当7,000万円の人数と、22年度の採用人数は、

退職者は4名です。新規採用者は4名で内1名は技術

福祉課

22年度1か所の保育園がなくなるが補助金は減るのか。

補助金は減りません。

待機児童はいるのか。
現在、町保育園の待機児童はいません。

社会福祉協議会の補助金が810万円削減されているが、

双方との話し合いの上で運営費を補助し、事業費の一部を削減しました。

社会福祉協議会の財務状況は、

基金が1億円ほどあるので、事業経営体力は十分にあると考えます。

小児医療費助成事業について、中学生まで無料化は出来ないのか。

近隣の市町村の状況を踏まえて、検討していきたいと思えます。

真鶴町議会委員会等構成表

(長)は委員長 (副)は副委員長 ○は委員

氏名(順不同)	電話番号	0465	議長・副議長	総務民生常任委員会	経済文教常任委員会	議会運営委員会	※広域行政推進委員会	上下水道対策特別委員会	議会基本条例制定に関する特別委員会	議会だより編集委員会	監査委員	湯真衛生生組合議会議員	国保運営協議会	※都市計画審議会	まちづくり審議会	下水道推進協議会
板垣由美子	68-3858				○		○	○	○							○
村田 知章	20-4534				○		○	○	○	(長)						○
高田 昇	68-5404				○		○	○	○							○
海野 弘幸	69-2321			(副)		○	(副)	(長)	○	○						○
青木 繁	68-5238				(副)	○	(長)	(長)	○							○
岩本 克美	68-5768				○	(長)	○	○	(長)	○			○			○
神野 秀子	68-2571			○		○	○	○	(副)	○	○					○
二見 和幸	68-1718				(長)	(副)		(副)	○	○				○		○
青木 巖	68-2400			(長)			○	○	○	○			○			○
草柳 昭	68-3676		副議長	○			○	○	○	○						○
岡ノ谷佳子	68-0456		議長	○			○	○	○	○			○	○	○	○
黒岩 宏次	68-3123			○			○	○	(副)							○

経済文教常任委員会

水道料金の値上げについて

9月より9.9パーセントアップします。

真鶴町水道料金審議会を昨年の6月に設置しました。メンバーとして本町の水道を使用し、料金等にも密接に関係する町内の方や、学識経験者、各団体からの代表者など9名の方で構成されています。そこで水道料金に関する事項を調査、審議していただきました。

また、意見として3年ごとに審議会を開催し、水道事業の現況と料金の見直しを検討することなどのほか、3点の意見が付されました。

以上の答申結果を得て町執行部と議会とで改定率について審議しました。

平成22年1月28日真鶴町水道料金審議会より、平成21年9月17日付けで諮問のあった真鶴町水道料金の適正な料金体系について左のとおり答申を得ました。

町執行部は、審議会からの意見も重く受け止め、今後の水道事業経営に生かしていきたいと考えている。そのほか、今の節水型機器の普及や水需要の減少による使用料の減少、また敷設から30年以上経過し

答申内容

1、料金体系

料金体系については口径別とし、現行どおりとする。また超過分についても同様とする。

2、料金改定

料金改定については、今後も給水収益の増収が見込めず、施設の老朽化や耐震

化への適切な対応が求められ、施設整備に多額の資金が必要となる。

現状の収支試算等を鑑み町民生活に欠かせないライフラインである。

水道事業において、改定率を20%アップにすることをとする。

た配水管や配水池等の老朽化が進み、これらの改良や更新等を計画的に進めていく必要があることを説明しました。

また10年間の整備基本計画を策定したとの説明を受け、議会側より改定率9.9%、15

%、20%の試算提示を求め町執行部より説明を受けました。

審議した結果、料金改定については9.9%のアップという苦渋の選択となりましたことを報告します。

委員長 二見 和幸

議会基本条例制定に関する特別委員会

議会基本条例の制定に向けて活動開始

地方分権の進展に伴って議会の責任はますます重大となっています。住民の付託を受けた首長と、同じく住民の付託を受けた議会議員は二元代表

制のもと、首長の自治体事務の立案、決定、執行等に対し、議会議員は、決定・執行に至るプロセスの評価、論点・争点を広く住民に明らかにする責務を果たすことが重要です。

このため、真鶴町として昨年12月議会において『議会基本条例制定に関する特別委員会』を設置することが決定しました。

今後、基本条例制定に向けた作業状況の報告を、『議会

大井町で研修風景



だより』に掲載してまいります。

委員会設置から3月までの委員会活動の報告は、下段の

とおりです。

平成21年12月10日

湯河原町へ視察研修

平成22年1月27日

大井町へ視察研修

同日、帰着後に初委員会を開催し、今後の作業計画等について話し合いました。

毎月1回以上の委員会を開催し、平成23年9月に議案として提案出来るように作業を進めることを決定しました。

平成22年2月22日

視察研修に出向いた2町のほか、参考とすべき他市町の条例をひも解き、各自治体を取り上げている条例の編成例を洗い出す作業を実施しました。

平成22年3月23日

我が町が取り上げていくべき条例の編成等について、骨組みの検討を実施し、4月以降に真鶴町らしさを組み込んだ条例文の検討に入ります。

委員長 岩本 克美



報告

総務民生常任委員会

審議した陳情と審査結果について

「細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める国への意見書提出を求める陳情書」

この陳情は、神奈川県保険医協会より提出されました。

現在ヒブワクチンは、任意接種ですが約3万円の自己負担となっております。その費用を国が負担し無料化するように、町の方からも国へ意見書を提出してほしいという内容のものです。

所管の総務民生常任委員会に付託され審議した結果、全員賛成で採択しました。

3月2日の本会議において、委員長からその報告をし、採決の結果、賛成多数で陳情は採択となりました。

議員提案として、意見案を提出し、採決の結果、賛成多数で意見書の提出を可決しました。



ヒブワクチンとは？

細菌性髄膜炎は、細菌が髄液に入り込み脳を覆う髄膜に炎症を起こす感染症です。年間約1,000人が罹患していると推定されます。特にヒブ髄膜炎で3〜5%、肺炎球菌で10〜20%の患者が死亡しています。

ヒブワクチンは、その有効な予防薬としてWHO（世界保健機関）が推奨しています。

委員長 青木 巖

鋸南町



視察報告

鋸南町視察報告

平成22年3月26日

一つの町を結ぶ舟

源頼朝が石橋山の戦に敗れて真鶴町の岩海岸から舟でのがれ、たどり着いた先が、千葉県房総半島の鋸南町であるといわれています。そこで再び挙兵し瞬く間に20万ともいわれる関東武士をしたがえて鎌倉入りしました。その後、征夷大將軍に任命され鎌倉幕府を開くことになりました。



目印の旗をたてて迎えた旗立山

送り出す浜、迎える浜

鋸南町への船出は、闇雲に落ち延びたというよりも、頼朝を支援した武将の三浦氏の勢力地であり、旗立山に目印の旗を掲げて、頼朝を出迎えたそうです。



ここに頼朝が上陸

視察報告

頼朝がつないだ歴史的な関係でもあり、友好を深めることも必要だと思います。

今回、議員全員で鋸南町を訪ねました。現地では、鋸南町議会議長をはじめ行政関係者と意見交換を行いました。学芸員の案内で頼朝の上陸したといわれる竜島の海岸を視察し、その後、鋸南町の歴史・文化にふれてきました。

今後の町の活性化のための見識を深められたと思います。

歴史へのロマンは、近年若い人を中心に、ますます高まりを見せています。戦国時代の武将ブームで、各地のお城への観光客が増加しているそうです。次に続くのは源平ロマンかもしれません。

なお、視察の前日に、真鶴町在住の歴史に詳しい観光ボランティアの方に、両町における頼朝の足跡について学びました。感謝いたします。

村田 知章

鋸南町と真鶴町は、

ひまわりの家

みんな元気です

ひまわりの家とは、障がい者を支援するための地域作業所のことです。現在の利用者は20歳代から50歳代の6



名です。みんな元気で明るいです。職員は2名で、パートが1名です。

こんなことやっつてるよ！

主な活動は、情報センターにおいて、火・木・金のお昼に焼きたてパンの委託販売をしています。また、自主制作した紙すきのハガキや石けんなども販売しています。ほかに、アルミ缶やスチール缶の回収をしたり、パソコンを使った読み書きの練習をしたりと、大忙しです。

県と町から支援

町から福祉団体支援事業として、昨年に引き続き、22年度も同額の621万円の補助をしています。その内271万6千円が県からのお金で、町からは349万4千円支出しています。

地震に備えを

21年10月臨時議会において承認された中学校体育館の耐震補強工事は、順調に進み、22年3月末をもって完成しました。

真鶴町中学校体育館の耐震補強工事が完成

安心して授業ができる環境が整いました。



これで地震も一安心



町の予算 みんなことに 使われているの？

真鶴町立 遠藤貝類博物館

いよいよ、オープン！

4月1日から開館した当館は、町営観光施設「ケープ真鶴」の2階部分、約550平方メートルのフロアを改装し、4区分した展示室になっています。開館の運びとなった経緯は、

真鶴町初代教育長であり、また貝の収集家として私設博物館も経営していた故遠藤晴雄氏より、コレクションの「生きた化石」と呼ばれるオキナエビスガイなど含めた約4,500種5万点が町に寄贈されたことにあります。

町の負担最小限

総工費約7,000万円は、(財)日本宝くじ協会からの助成金を得て建設されました。年間の維持費は社会教育総務費(貝類博物館施設管理運営費)として、22年度予算は、約1,700万円予算化されています。

次年度からは当館の入れ込み状況から判断していくこととなります。この事業は、国の「ふるさと雇用再生特別基金」や「緊急雇用創出事業臨時特例基金」が使われています。



左 渡部 孟館長
植木 彩学 学芸員



珍しい貝が
いっぱい

村田知章議員

分かりにくい
行政用語の見直しを

自治基本条例の策定に向けての取り組みも進められており、ますます町民の町政への関心が高まるものと期待する。だが、行政の分かりにくい言葉が大きな壁になっている。町民が町政に参画・協働しやすくするために、分かりやすい言葉つかいを。

町長 広報などで用語の説明を設けています。今後も掲載方法などを検討します。

労働者に賃金保障を

労働者の最低賃金を保障するために公契約条例を制定する考えはあるか。

町はこの地域では大口発注者であることから、一般競争入札の受注業者が使用する従業員の賃金ま

で、ある程度責任を持つ必要があると考ええる。千葉県野田市では全国に先駆けて公契約条例を策定した。

町長 条例としての制度制定は考えていません。国の労働基準法・最低賃金法等に遵守します。

神奈川県の最低賃金は789円であり、これでは家族を養うことができるのか。最低でも高卒町職員初任給レベル以上の保障が必要では。

町長 国の法律の範囲で問題ないと考えています。

受動喫煙から住民を守る

4月から神奈川県受動喫煙防止条例が施行される。また、厚生労働省からも受動喫煙を防止するための通知が出された。町として受動喫煙についてどのような取り組みをするのか。

町長 公共施設内の全面禁煙を実施します。民間の施設には、禁煙の周知を努めていきます。

たばこは火災の原因にもなり、お林を守るためにも禁煙エリアの設置など必要では。

町長 保安林は原則禁煙です。周知を図ります。



歩きタバコはやめよう!

一般質問

板垣由美子議員

高齢者のための
施策について

高齢者を地域で支えていくための環境整備の環境として、小学生も中学生も高齢者の認知症を理解し、サポートできるようなわが町の人材づくりすなわち、認知症サポーター養成講座を開催する考えはないか。

町長 認知症をはじめとする高齢者の方が直面する課題を正しく理解し、そのサポートの仕方を学ぶことは、子ども達にとっても大切な役割を果たすことであると考えます。今後、学校と研究し、生涯学習課の事業であるサマースクールなどで取り上げられることも検討してまいります。

独居高齢者や、高齢者世帯の緊急時の対応策



本は心のパン!



緊急の対応として、災害時要援護者等登録制度をスタートさせています。キットについては、救急隊員がすぐわかる場所に保管するなどのルール化を検討し、今後、民生委員や消防署など関係機関とも協議します。

子供たちに読書習慣を

国民読書年の本年、本町の取り組みについて、第3次真鶴町総合計画の子ども読書活動推進計画に基づく事業の展開は、ど

ような視点で計画を進めていくのか、また、真鶴町家庭の日を中心とした家庭での読書運動の推進について伺う。

町長 読書は、子どもにさまざまな良い影響を与える事を考え、本好き子どもを育てることが目標です。園、学校での読書活動の充実、真鶴町家庭の日の関連も図りながら、家庭での読書活動の啓発やきっかけ作りを進めます。図書館と学校の図書室の連携により、子ども読書活動の推進に努めてまいります。

岩本克美議員

児童生徒の安全対策について

22年度は小・中学校に防犯カメラを設置し、児童生徒の安全対策の確保を図るとあるが、その活動の具体例を問う。

また、「子供110番の家」運動のさらなる協力体制を築く必要があると思うが併せて回答を求めらる。

「子供110番の家」運動は、協力者宅へお礼と引き続きの協力をお願いしました。今後も新たな協力者を募り、町民の安全と安心対策に努めます。

「学校地域安全協力者会議」メンバーによる朝の声かけ運動や自治会の方々による子どもの安全見守り活動、また、町民有志の方々による隧道・

地下道・横断歩道などでの見守り声かけ運動などがあります。学校では安全教育として、避難訓練や不審者情報などに応じた指導を行っています。PTAや教職員も定期的に通学路に立ち、安全見守り活動を行っています。

提案として「子供110番の家」運動を展開しているPTA・自治会・防犯協会などと情報を共有できる場面を作ること。第二に、各団体が協力しあえる土壌を作ること。更に、その成果を確かめ合える機会を作ること。共通認識に立った活動が可能になると考える。「方」子ども110番の家」運動の所管は環境防災課、町全体で約280件の協力を得ているが、ほぼ横ばいに推移している。所管の違いから協同歩調が取れていない現状を、安全・安心な町を目指す真鶴町が「子どもの安全対策」という独立した施策として取り組むべきであると考えられるか。

今後関係各課の連携

に努めることでご理解を願います。

防犯カメラの設置という防犯対策の一步を踏み出された。先日PTAのお母さん方と話を聞く機会があったが、学校周辺にフェンスがないのに驚かれたこと、真鶴はそれだけ平和だったといえるが、平和ボケしている場合でない昨今です。さらに学校周辺のフェンスと、正門には門扉を作ること将来検討すべきではないかと提起しておく。



一般質問

高田昇議員

行政と自治会のありかたについて

行政から自治会に依頼される活動が多すぎる。小田原市のように自治会長の人数だけで、255名もいけば役職も分担できるが、活動を減らすことは出来ないか。

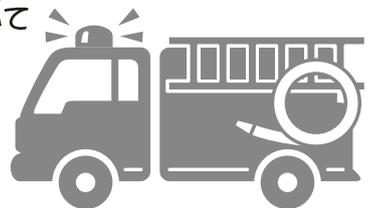
従前から事業の実施の際には自治会の皆様の理解をいただきながら進めて来ました。自治会における問題点については、各自治会に配属した担当職員を通して、各所管の職員に相談をお願いします。

赤十字募金について

本来募金というのは、協力者が必要とする団体に手渡すもので、共同というのはおかしいのでは。自治会が集金マシーンにさせられているように思う。



「美の基準」は？
お林展望公園駐車場、消防車の車庫について



赤十字は共同募金としてではなく、社資という形で皆様の協力をお願いしています。決して強制しているものではありません。



お林展望公園駐車場、消防車の車庫について

石原プロより寄贈された消防車の車庫の位置について、町民から反対する声があがった。「美の基準」を掲げ、町として景観を

石原プロが町を訪れた際に「消防車を寄贈いただけたら、町の財産である「お林」を守るために、火災が発生した際にすぐ出動できるよう、展望公園の駐車場に配備をさせていたきたい」と話しました。議会への説明については、昨年8月、補正予算計上の際にさせていただきました。

青木 巖議員

開かれた学校づくりを

「開かれた学校づくり」が実施され、家庭・地域と連携した明日を担う子どもたちの育成と、地域の拠点となる学校づくりについて伺う。

による地域巡り、2年生の職場体験学習、3年生の保育・介護体験学習を行いました。学校は教育活動の成果をいろいろな形で地域に発信することで、地域の拠点となっています。

まなづる小学校では5年生が総合学習で、「美の町 真鶴」について学習し、町内のお店等に取材に行き「真鶴BOOK〜真鶴一番のお気に入り場所〜」という冊子を作成配布し自分たちが見つけた真鶴の良さについてアピールしています。



ふるさとを知る教育を

真鶴ふるさと教育について伺う。

真鶴町では「海の学校」があります。真鶴半島の自然をフィールドとした自然の素晴らしさや、「命」の尊さについての学習機会を提供しています。成果としては次のとおりです。

- 1、子どもたちと地域の方との絆が生まれたこと。
- 2、子どもたちに真鶴の良さを理解するきっかけが生まれたこと。
- 3、学校が施設などの教育財産を提供することにより、生涯学習の充実に貢献していること。

中学生では1年生が漁業協同組合の方の協力による漁業体験や観光ボランティアさんの協力



素敵な真鶴再発見!!

一般質問

黒岩宏次議員

上水道事業のあり方と課題は?

真鶴町水道料金審議会は、「水道料金の適正な料金体系について」の答申で、現行料金の改定率を20%アップするとした。答申にあたっては、「多角的な視点からの見直し、安全で安心な水道料金を供給し、水道事業が安定的に運営できるように」と注文をつけている。さらに、水道事業のあり方に4項目の注目すべき意見をつけているが、町長はこの意見に対してどのように受け止めているのか。

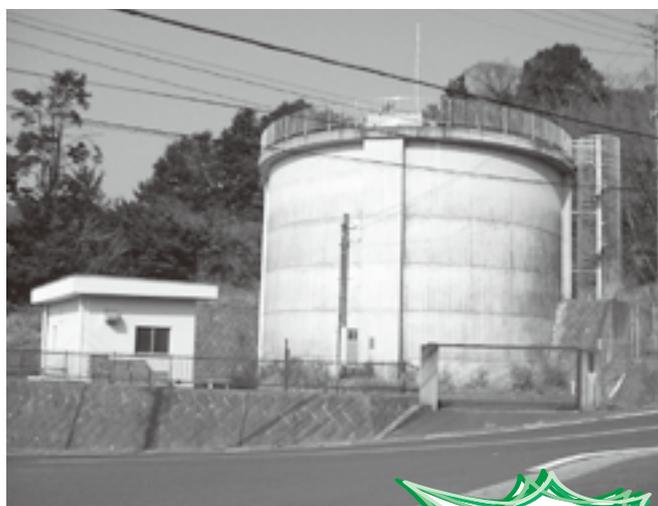
また、需要に応じた適切な施策が求められているが見解は。

町本町の上水道事業は、安全で安心な水を安定して供給することを最大の目標としています。そのための事業を進め

ていく上では、健全な経営が必要です。当町の水道料金は、平成17年7月に改定率35%という負担を願ったわけです。しかし、昨今の節水型機器の普及や水需要の減少による使用料の減収、また敷設から30年以上経過した配水管や配水池等の施設の老朽化が進み、これらの改良や更新等を計画的に進めていく必要があることから、10年間の整備基本計画を策定しました。

また、水道料金については、学識経験者、各団体の代表者など9名の方からなる「真鶴町水道料金審議会」を設置し、水道料金に関する事項を調査、審議しました。その答申として、3年ごとに審議会を開催し、水道事業の現況と料金の見直しを検討することなどのほか3点の意見が付けられました。

審議会からの意見を、重く受け止め、今後の水道事業経営に生かしていきたいと考えています。なお、今回の9・9%の料金改定については苦渋の選択です。



みんなの水道配水池

平成22年3月定例会審議結果(本会議)

会期(2010年3月1日~12日)

議案番号	議案	賛成	反対	議決結果	板垣由美子	村田知章	高田昇	海野弘幸	青木繁	岩本克美	神野秀子	二見和幸	青木 厳	草柳 昭	岡ノ谷佳子	黒岩 宏次
同意第1号	真鶴町固定資産評価審査委員会委員の選任について	11	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第2号	人権擁護委員の推薦について	11	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第3号	人権擁護委員の推薦について	11	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	真鶴町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	8	3	可	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○
議案第1号	真鶴町常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	真鶴町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	真鶴町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	岩ふれあい館条例の一部を改正する条例の制定について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	真鶴町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	町道路線の廃止について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	町道路線の変更について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	平成21年度真鶴町一般会計補正予算(第5号)について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	平成21年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成21年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第3号)について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成21年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成21年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計補正予算(第4号)について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	平成21年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	平成21年度真鶴町水道事業会計補正予算(第4号)について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	平成22年度真鶴町一般会計予算について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	平成22年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	平成22年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)予算について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	平成22年度真鶴町老人保健医療特別会計予算について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	平成22年度真鶴町下水道事業特別会計予算について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	平成22年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計予算について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成22年度真鶴町介護保険事業特別会計予算について	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成22年度真鶴町後期高齢者医療特別会計予算について	10	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第23号	平成22年度真鶴町水道事業会計予算について	10	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
発議第2号	細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める国への意見書の提出について	10	1	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



編集後記

とかく議会のことは難しく、わからないという印象があるかもしれません。議会とは、真鶴町に暮らす皆様がどのようにしたら幸せに過ごせることができるのか、どのようにしたらより素敵な町になるのかということを、一生懸命考えるという大切な使命があります。この議会だよりは、そういった議会でお話し合われた事柄を、皆様に分かりやすくお伝えするのが役割です。

議員が文章を書き、議員の手で編集することで、生の議会の声を届けられるように努めました。少しでも、議会を身近に感じていただけたら幸いです。

編集委員長 村田 知章